令和４年７月２８日（木）子ども環境体験ツアー「自然とつながる未来都市」

日　程

豊川市役所 → もりの学舎(長久手市)→ とよたecoful town(豊田市)→ 豊川市役所

当日の様子

今回の子ども環境体験ツアーは小学生１３名が参加しました。

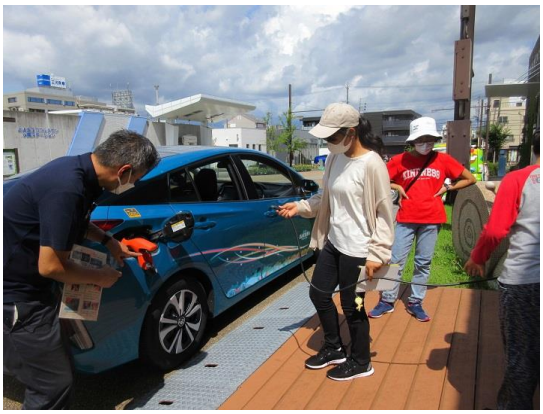
午前中は長久手市の愛・地球博記念公園内にある「もりの学舎」へ行きました。ここでは、インタープリター（森の案内人）の方と森の中で様々な体験をすることができます。

まず、森の中にいる危険な動物や植物について教えてもらってから、森の中を歩きました。木の下から空を見上げると、葉っぱの向こうにきれいな景色が見えました。

今回は、森の中で見つけたものの名付け親になる体験をしました。数人ずつに分かれて木や葉っぱ、地面の石など面白いものを探し、それらをよく観察したり触ったりして感じたままに名前をつけ、皆に発表しました。

この後、もりの学舎の教室に入ってフォトフレームを作りました。園内で採集されたどんぐりや小枝などを思い思いに並べてフォトフレームを飾り付けました。

午後は豊田市の「とよたecoful town（エコフル タウン）」に行き、コンシェルジュの案内で施設を見学しました。



ここでは、持続可能なまちづくりや未来の都市の姿を展示やタブレット等で見たり、燃料電池自動車や水素ステーションなど、新しい技術や取り組みについて見学することができます。

スマートハウスの見学では、屋根に設置している太陽光発電システム、家の中の電化製品や外に停めてある自動車などが HEMS でつながっていること、この家が停電したときは、外の自動車から家に電気を送ることができると教えてもらいました。また、音声で窓のシャッターの開閉や玄関ドアを施錠することも可能で、実際に操作を体験させてもらいました。

そのほか、プラグインハイブリッド自動車を使って、自動車から電化製品に電力を供給し、照明スタンドやドライヤーなどを使ってみる体験もしました。

今回の子ども環境体験ツアーでは、自然の体験や工作を通して森の大切さや面白さを知ったり、未来の都市のすがたを見ることができました。

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- 自然はとてもきれいだと思いました。
- ほとんど行かないところに行けてよかった。
- 環境や、未来についてを楽しく学ぶことができました。話や授業も分かりやすくて、助かりました。夏休みの課題に使わせていただきます。

・・・など